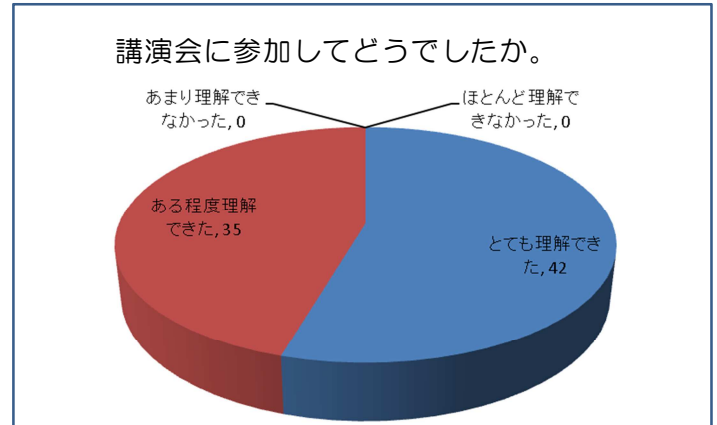
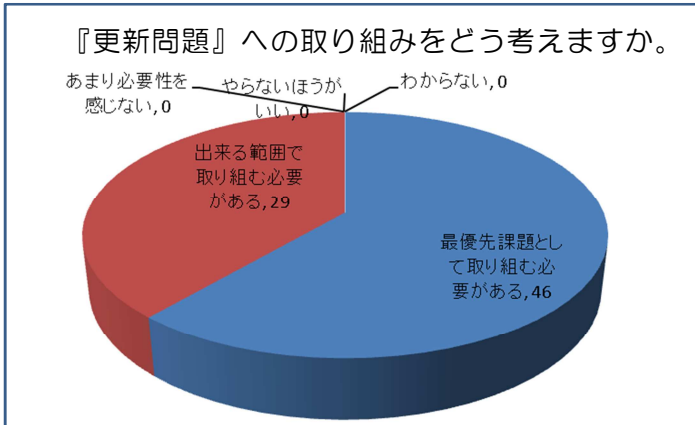
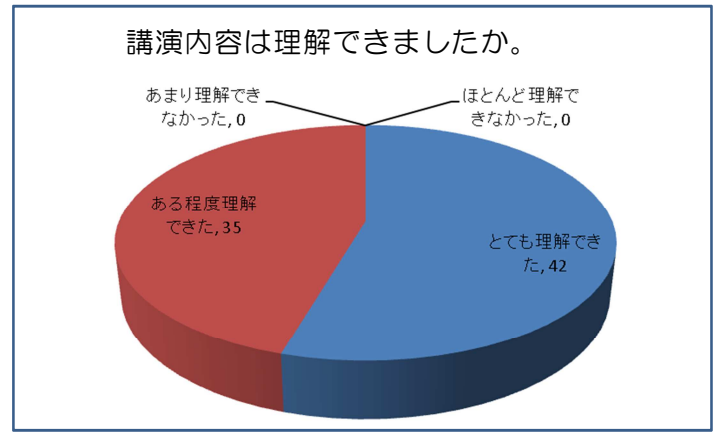
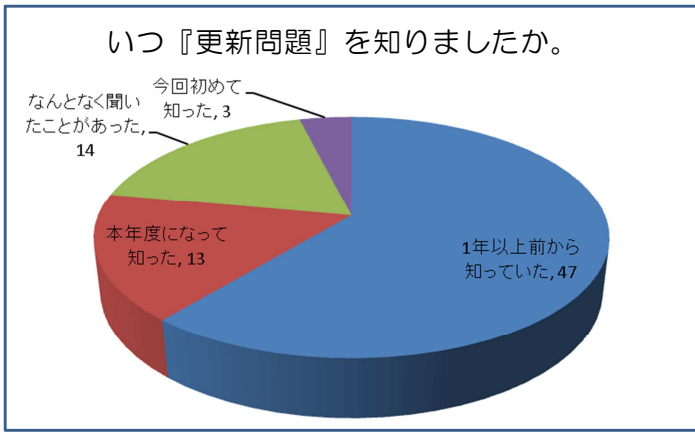
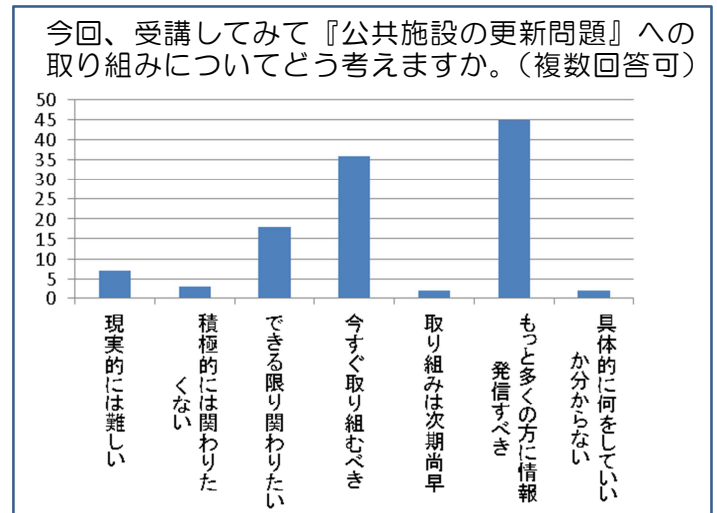


《参加者アンケートの結果》



※グラフ中の数値の単位は“人”



《自由意見》

- ・鳥取市モデルの創出。本気・やる気度 ただし新市域問題解決は知恵が必要
- ・やりくり、工夫だと思う(今後)
- ・施設の複合化(小学校とデイサービス)により、子どもと高齢者との触れ合いが増えるなど、色々な施設の複合化により生まれる効果を考えると、楽しくマネジメントを考えると良かった。
- ・ハコモノ・インフラの公共施設を市民と意識共有しながらやりくりする。
- ・とてもよい研修だった。
- ・説明が聞きやすく、分かりやすかった。
- ・「住民との協働」行政側からすると敬遠しがちなところを突っ込んで実行し、有意な結果を得ていることは印象に残った。
- ・公共施設の複合化について、少なくとも放課後児童クラブは小学校と一緒によいのではと思います。
- ・入ってくるお金は先細り。多くのがまんを少しのがまんに。
- ・市民との協働の実例が聴けてとても参考になりました。
- ・FMについて市民との協働が大切だということがよくわかりました。
- ・色々な話を聞いて危機感が出ました。わかりやすい説明ありがとうございました。
- ・小学校の教室をディサービスとして利用するというアイデアは、これからの社会構造に適した新しいカタチであると感じた。本市でも何らかの利用を考えるべき。
- ・協働による事業の推進
- ・さいたま市の資料と比べると、鳥取市の資料の分かりにくさが目立ちました。
- ・市民との協働による公共施設マネジメント
- ・有意義な話であったが、津波や災害にも対策が必要ではないかと思います。